

泰日協会学校（バンコク日本人学校）**学校だより**
Thai Japanese Association School

令和2年度
1月号

<https://www.tjas.ac.th>
小学部第1職員室
02-314-7334
小学部第2職員室
02-369-2750
中学部職員室
02-314-7335

ラーチャブルック
ราชพฤกษ์

※「ラーチャブルック」はタイを代表する花、ゴールデンシャワーをタイ語で表現したものです。

バンコク日本人学校長 谷口 幸一郎

明けましておめでとうございます。本年もよろしくお願いたします。

令和3年、丑年の始まりです。保護者の皆様におかれましては、どのように新年をお迎えになりましたでしょうか。バンコクにいと、日本とは違い、正月の雰囲気を楽しむことがあまりできなかったと思いますが、是非、子供たちには「正月」について、お話をあげてください。

例えば、「おせち料理」には、海の幸、山の幸がたくさん使われています。「紅白かまぼこ」・・・かまぼこは日の出を表すもので、赤と白にはめでたさや喜びや神聖さを表しているそうです。「黒豆」は、豆自体が健康・丈夫を表しているようですが、「まめに働けるように」という語呂合せからもきているようです。さらに門松は年神を家に迎え入れるために作ったもので、中に松、竹、梅、ナンテン、センリョウなどを使って飾りつけを行います。私も親から小さいころに教わったものです。それぞれの地方によって、習慣は様々ですが、15日までは松の内です（地方により諸説あり）ので、お子さんと一緒に「正月」についていろいろ調べてみるのもいいかもしれません。



*「丑」の字の書き方⇒「刀」を書いて、それに「二」をつけると、書けます。

前向きにとらえると

去年は日本中で一斉休業が要請され、卒業式など年度末に行わなければならない行事等が削られたり、縮小されたりしました。本校においても同様で、新年度が始まって子供たちは登校できず、在宅での学習を強いられることになりました。その後、いったん二学期からはコロナウィルス感染を防ぐための方策をタイの教育省へ提出し、学校再開の許可を得ることができました。

やっとの思いで9月から始まった教育活動ではありましたが、これまでとは異なる方法を模索し、実施できたのではないかと思います。例えば、小学部のミニ運動会、全校児童を集めて一斉に実施するのではなく、学年ごとに分散した形で実施することにより、個々の子供たちの役割が増えたり、演技する場面と場面との間隔が狭まったりしました。その結果、暑さ対策や時間の短縮などにつながり、次年以降の運動会のやり方の参考になりました。また、中学部の外部人材活用においては、これまで講師を直接学校へ招聘して行っていたものを、オンラインで行いました。結果、講師の学校に来る負担を軽減することができました。

ところが、ご案内のとおり、コロナウィルス感染拡大防止に伴い、タイ教育省からの都内すべての教育施設の閉鎖命令が出されました。再び様々な校外行事等を中止しなければならない状況が出てきています。本校は日本人学校ではありますが、他国の日本人学校とは異なり、あくまでもタイの私立学校（泰日協会学校）の扱いになり、タイの教育省の命令下で教育活動をしなければなりません。子供たちにとっても本校職員にとっても残念なことではありますが、その環境の中でベストを尽くしていきたいと思ひます。今後、ご不自由をおかけすることになりましたが、ご理解、ご協力を賜りますようお願いいたします。



オンラインによる講演

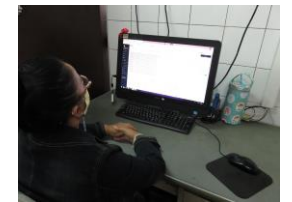
モントリー社訪問

昨年末、PTAの役員の方、生徒指導係、合わせて10人で子供たちの通学バスを運行しているモントリー社を訪問しました。社長のオラヌットさんをはじめ、多くのスタッフがあたたかく出迎えてくれました。会社は学校からかなり離れた所(194/1 Serithai Rd. Khannayao)にあります。初めに会社の**基本理念、「安全と信頼」**の説明を受け、実際にどのような形で子供たちの送迎を行っているかをビデオで見せていただきました。まず、**ドライバーさんとアシスタントの方は5時には出社し、アルコールチェック**を受けます。その後、打合せを行うとともに車の点検をし、子供たちの住宅へ向かいます。子供たちを学校に連れてきた後は、学校から1.5キロぐらい離れた所に車を一時駐車し、学校たちの下校時には学校へ向かいます。(時間に間に合うように、学校近くの病院横の路上でも待機しています。)その後、子供たちを各住居へ送ります。また、バスを車庫に戻して終わるという一連の流れになります。その中で、本社では各バスの位置をGPSで把握するとともに、エンジンがかかっているかどうか把握しているそうです。(無駄なガソリンを使わせないため)また、会社には給油所、修理場所もあり、車のメンテナンスや修理を自社で行うことができるようになっていました。また、車は大体、10年から15年間で交換するということでした。(タイにしては早いサイクル?)さらに子供たちのバスが故障などした場合はできるだけ早く対応ができるように、待機バスも準備されているということでした。



学校近くの駐車場

今後、子供たちのバスがどこを走っているかの情報を保護者に伝えることができるようなソフトを開発しようとしているそうです。これまでに、政府などから7回、賞をもらっているようで、会社の信頼度が高いことも分かりました。



PCによる車両管理

新年を迎えて

本校のミッションとして「Global 人材の育成 ～世界に貢献できる日本人～」を、掲げています。言い換えると、**世界社会が必要としている力を子供たちに身に付けさせる**ためにどのような教育をしていけばいいのを探る必要があります。その上で、一番目に本校が取り組んでいることに**SDGs**があります。本年度は、学年行事や教科学習内容と17項目との関連を明確にしなが、授業の中で意図的に子供たちにSDGsの項目を投げかけ、考えさせながら意識付けを行っているところです。二番目に**外国語教育の充実**です。小学校の**低学年からネイティブによるタイ語や英語の授業**を行っています。今年はいずれをさらに強化していきたいと考えています。

さて、海外に暮らしていると、日本のよさを改めて感じる人が多いのですが、それは逆に海外での生活がストレスになっていることと言えます。「**日本が標準であり、世界が変わっている。**」という考えから、「**世界が標準、日本が特殊**」という考えに変えなければ、世界で生き抜いていく力は付きません。世界には理不尽なことがいっぱいあり、どうしてもならない**制約があります**。その中で工夫し**適応して生きていく力を身に付ける必要**があります。日本は戦後GHQの下、様々な苦難を乗り越えて高度経済成長を果たしてきました。日本人の底力を世界に見せつけました。しかし、バブルの崩壊後、日本の世界における影響力はどうでしょうか。何が足りなかったのでしょうか。(例えば、歩道を走っているバイク、タイでは普通、日本では危ないから大きなニュースになります。しかし、タイ人も日本人もそれぞれの環境で育ち、大人になり、同一のステージで社会人として働きます。)

9年生の面接練習で子供に「どんな人になりたいですか」と尋ねると、「世界で活躍できる人間になりたい」と答えた子供が多かったです。そのような人材を育てるためには、「**グローバルスタンダード**」の視点を持たせることが大切です。昔から「**かわいい子には旅をさせろ**」という言葉があるように、日頃から自立解決させるようにしてみてください。うまくいくこともうまくいかないこともあります。その両方を経験することが大切だと思います。私たち親自身も「世界が標準、日本が特殊」という考えを持ちたいものです。

2020年度 1月事予定 泰日協会学校

日	曜	
1	金	元日 年始休業
2	土	年始休業
3	日	年始休業
4	月	
5	火	
6	水	
7	木	
8	金	【小、中】始業式
9	土	
10	日	
11	月	インターネットを活用した授業1
12	火	インターネットを活用した授業2
13	水	インターネットを活用した授業3
14	木	インターネットを活用した授業4
15	金	インターネットを活用した授業5
16	土	
17	日	
18	月	インターネットを活用した授業6 【小】ゆめ集会
19	火	インターネットを活用した授業7
20	水	インターネットを活用した授業8
21	木	インターネットを活用した授業9
22	金	インターネットを活用した授業10 【小】音楽朝会⑥ 学校創立記念日
23	土	
24	日	
25	月	インターネットを活用した授業11
26	火	インターネットを活用した授業12
27	水	インターネットを活用した授業13
28	木	インターネットを活用した授業14
29	金	インターネットを活用した授業15
30	土	
31	日	